

知らない土地で、初めて通る道を歩いていると、思いがけないものに出会うこともあります。先日、東海道線の根府川駅から山道を歩いていた時もそうでした。その道は一応舗装はされているのですが、幅員狭小で人も車もほとんど通らない急峻な道でした。その道の真ん中に、見たこともないような大きな「松ぼっくり」がいくつも落ちていました。

大きさ（長径）は 15cm ほどで、普通のアカマツの球果の 3～4 倍もあります。これはダイオウショウの球果です。ダイオウショウ（ダイオウオマツ） *Pinus palustris* は「大王松」の名の通り、樹そのもの、葉、実（球果）とも巨大なマツです。もともとアメリカ南東部に分布しますが、なぜ日本の根府川なんかはこの樹があるのかは不明です。ただ地質的には火山岩質の土壌を好むので、箱根外輪山の火山岩質の地質である根府川付近の土壌は、生育条件に合っているのかも知れません。

私は荷物になると思って拾わなかったのですが、鱗片の中に種子があったはずで、持って帰ればよかったと非常に後悔しました。後悔したので、写真は公開しておきます・・・！

(2025 年 4 月下旬／神奈川県小田原市根府川)

